

## 主な質問

Q. 流入幹線の整備によりどれほどの降雨に対応できるようになり、周辺の浸水被害はどのようにになりますか。

A. ポンプ場を含め、雨水の整備については時間雨量50mmに対応できるように整備を行っていきます。流入幹線の整備が完了するのは令和2年度末の予定ですが、それとともに即座に効果が現れるわけではありません。引き続きポンプ場本体が令和5年度末の予定で整備されることから、その供用開始を見据えたタイミングで、既存の水路からの雨水を取り込めるよう水路と流入幹線を繋ぐ工事を行うことで、地区の浸水被害が大幅に軽減されると考えています。

Q. 事前調査中、沿道住民の住宅の出入りはどうなりますか。

A. 1箇所あたり10m程度の長さで調査し、同時に複数箇所を調査することではなく、迂回ルートを確認します。交通規制などの時期等の詳細については、沿道住民へお知らせを配布するほか、出入り口にかかってしまうお宅へは個別に時間等の調整をさせていただきます。

Q. 工事による音や振動への対策はどうなりますか。

A. 地上で重機を使用する場合はエンジン音等が発生しますが、発進立坑の周囲に仮囲いと呼ばれる壁を配置することで、音が漏れにくくなるように対応します。また、流入幹線の推進工事は地下4～5m程度の深さであることから、基本的には人が感じられる振動は発生しないと考えています。

Q. 工事車両の出入りはピークになる時間帯はありますか。また、通学路等と重なることからどのような安全対策を考えていますか。

A. 工事の種類にもよりますが、基本的に工事車両の出入りは万遍なく行われ、短時間で数台が出入りすることは少ないと考えています。また、安全対策としては工事現場の出入り口等にガードマンを配置するほか、工事車両のドライバーには学童が多数通行する旨を周知し安全な通行を徹底します。

Q. 祝日および振り替え休日に工事は行われますか。

A. 祝日および振り替え休日については、日曜日と同様に休工とします。